

# とやま県プラ



## CONTENTS

- 2 会長メッセージ
- 3 下期理事会
- 4 総務委員会レポート
- 6 技術委員会レポート
- 9 会員交流：つどいの場
- 11 会員交流：My Life
- 12 各種検定
- 13 会員企業による景況調査
- 15 プラスチック関連データ
- 16 共創

富山県プラスチック工業会

2026.1 No.56

～～ライトアップされた富山県総合運動公園～～



## 新年に寄せて

富山県プラスチック工業会  
会長 渡辺信樹



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、昨年も厳しい経済環境の中、プラスチック産業の発展にご尽力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

本年は干支でいう「午年」です。古来より午は「躍動」「前進」「スピード」を象徴し、積極的な挑戦が成果につながる年とされています。私たちの業界も、環境対応や技術革新、そして人材戦略など、変化への迅速な対応が求められています。午年の意味を胸に、果敢に行動し、業界の未来を切り拓いてまいりましょう。

世界的な環境意識の高まりや循環型社会への移行は、プラスチック産業にとって避けて通れない課題です。リサイクル技術の高度化、バイオマス素材の活用、製品設計段階からの環境配慮など、持続可能な取り組みを加速させることが重要です。

加えて、今後の成長を支える鍵は「人材」です。人口減少と労働力不足が進む中、優秀な人材の確保と育成は企業の競争力を左右します。近年注目される「人的資本経営」は、従業員を価値創造の源泉と捉え、採用強化、教育・研修、働きやすい職場環境の整備など、人材への投資を重視する考え方です。当工業会としても、情報共有や研修機会の提供を通じ、会員企業の人材戦略を後押ししてまいります。

さらに、DX推進と人的資本経営を両輪とし、技術と人材の融合による新たな価値創出を目指しましょう。地域社会との連携も深め、富山県の産業基盤をより強固なものにしていくことが重要です。

本年も「挑戦と変革」をキーワードに、午年らしく躍動感をもって業界の未来を切り拓く一年といたしましょう。会員の皆様のご健勝とご発展を心より祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 下期理事会

渡辺会長の挨拶の後、議長に渡辺会長を選出し、第4号議案まで審議しました。全て原案どおり可決承認され、審議を終了しました。

日時：2025年10月30日(木) 13:30～14:10  
場所：富山電気ビルディング 2階「202号室」  
出席者：役員25名(代理出席含む) 総務委員長



下期理事会

## T-Messe2025 富山県ものづくり総合見本市へ視察

理事会終了後は希望者で富山県ものづくり総合見本市を視察しました。会場入り口で記念撮影を行い、富山県プラスチック工業会の連携ブースを見学しました。学生をはじめ多くの来場者で賑わっていました。



会場前にて



プラスチック連携ブース



## 2025年度 中部地区業界団体懇談会

今年の当番県である岐阜県にて開催され、当会からは会長はじめ5名の役員が参加しました。最初に岐阜車体工業(株)を工場見学し、その後懇談会・懇親会へと進みました。工場では、大型車体の加工、組立、検査といった工程を視察できました。工場での説明でもその後の懇談会においても、人材確保が最大の課題になっていると話題になったのは印象的でした。

日時：2025年10月22日(水) 13:10～19:30  
出席団体：(一社)中部日本プラスチック製品工業協会  
愛知県プラスチック成形工業組合  
岐阜県プラスチック工業組合  
石川県成型加工工業協同組合  
富山県プラスチック工業会

- 内容：1. 工場見学  
・岐阜車体工業(株)  
2. 懇談会  
・各県の団体活動の現況、課題、業界の現況について  
3. 懇親会



懇談会



視察先

## 労務研修会

### ●労務研修会Ⅱ

今回は若者の早期離職の実態にスポットを当てた講演でした。講演では、講師と同事務所の社員で実際に早期離職を経験した20代社員の方が、転職に際してどのように考え行動したかを語ってくださいました。

日 時：2025年9月9日(火) 14：00～15：30

場 所：富山技術交流センター2階 大研修室

演 題：「若者の就業実態 社労士分析と20代の本音」

～入社3年で早期離職の実態にせまる～

講 師：社会保険労務士法人 片境事務所 代表社員 片境 一暎 氏

参加者：12社17名



研修風景

### ★受講感想 (株)タカギセイコー 平 玖令亞

労務管理研修を通じて、若者の就業実態や早期離職の背景について学びました。早期離職の課題を理解する中で、長期勤続がもたらすスキルの蓄積やキャリア形成の重要性を再認識しました。また、若手社員の方のリアルな声を直接聞いたことは非常に参考になりました。この学びを活かし、今後は人事担当者として、社員のサポートに努めていきたいと思えます。

## 懇親ゴルフコンペ

日 時：2025年9月13日(土) 7：45～

参加者：32名

場 所：八尾カントリークラブ

幹 事：阪神化成工業(株)

天候は雨模様が予想されましたが、傘をさすほどでは無く、プレーに大きな影響もなく、全員がホールアウトできました。ラウンド終了後の表彰式では、名前が読み上げられるたびに歓声と拍手が起こり、和やかな雰囲気の中で執り行われました。



参加者の皆様

順位	企業名	氏名	GROSS	NET
優勝	(株)リッチェル	塩原 毅	94	71.2
準優勝	阪神化成工業(株)	山崎 翼	81	71.4
3位	(株)タカギセイコー	田口 浩孝	85	71.8
ベストグロ賞	シロウマサイエンス(株)	松下 康二	80	



人と技術を結ぶパートナー



**金森産業株式会社**

本社 〒933-8558 高岡市昭和町1-4-1  
TEL (0766) 25-0123 (代) FAX (0766) 26-5663  
支店・営業所 東京・大阪・富山・金沢・福井  
<http://www.kanamorisangyo.co.jp/>

営業品目

熱硬化性樹脂成形材料  
熱可塑性樹脂成形材料  
各種成形機、合理化機器

**黒田化学産業株式会社**

本社 〒930-0069 富山市旅籠町4番2号  
TEL (076) 424-3291  
新潟営業所 〒959-1288 新潟県燕市燕1233-4  
TEL (0256) 62-5105

## 青年部会

### ●第2回青年部会研修会（異業種優良企業視察研修）

今回視察した(株)トンボ飲料は、創業129年の清涼飲料メーカーです。RCコーラで馴染みのある方も多いかもかもしれません。工場はクリーンルーム化され、差圧管理などによる徹底した品質管理が行われていました。社内では改善活動が活発に行われ、マンネリ化を防ぐ工夫について具体例を交えて説明していただき、大変参考になる視察となりました。

日時：2025年10月8日(水) 14：00～15：30

視察先：株式会社トンボ飲料

参加者：11社12名



(株)トンボ飲料様にて

### ★受講感想 シロウマサイエンス(株) 廣多 哲也

社内改善の取り組みとして「予防処置提案制度(=改善提案制度)」に取り組んでいるとのこと。この制度は全社員が提案可能で、全社員に改善提案情報を共有し、「良いね」による賛同を行うことができる。提案を受けた担当部署の管理者がその内容に真摯に回答を行い、効果が見込める内容は実行に移すという改善の「みえる化」を行っている。このような取り組みを活用し社員が働きやすく、業務効率の改善に繋げることが今後の産業界にとって重要なことではないかと感じました。

## 研修講習事業

### ■後期レベルアップ研修会

日時：2025年10月6日(月)～9日(木) 9：00～16：00

場所：ポリテクセンター富山

参加者：9名



研修風景



高陵プラスチック工業株式会社

〒933-0824 高岡市西藤平蔵字内川原1312  
TEL(0766) 63-5656(代)  
FAX(0766) 63-5658

押出成形ラボ



【押出成型ラボ】

【ホームページ】

樹脂押出成形のいかなる問題にお応えする問題解決型サイト  
URL：<https://oshidashiseikei-lab.com/>

三協化成株式会社

本社・工場/高岡市福岡町下向田3-1 TEL(0766) 64-4000(代)

## 先進企業視察研修

今回の視察では、2020年に新設されたロボット第3工場をはじめ、ショールームやロボットFA展示場を見学しました。ロボット第3工場では、ロボットがロボットを生産する様子を、組み立てから検査、出荷工程まで一連の流れとして見学できました。

ショールームでは、実際のバイクや自動車を切断し、製品の採用箇所を紹介する展示が行われており、参加者は大変興味深く見入っていました。

日 時：2025年7月29日(火) 13：00～16：00

視察先：株式会社不二越（ショールーム・ロボットFA展示場・ロボット組立工場）

出席者：11社22名



(株)不二越様にて

### ★視察感想 タカラ産業(株) 坂本 圭亮

今回、「先進企業視察研修会」において、株式会社不二越様をご訪問させていただきました。不二越様は切削や切断などに使用される機械工具事業やロボット事業をされており、今回はショールームやロボットの展示場、実際の作業をされている工場を見学させていただきました。様々な協働ロボットを見ることが出来ました。特に目を惹いたのが、一定の範囲内に人が侵入すると接近を自動感知し速度を落とし、さらに侵入するとぶつかる前に止まり、離れると作業を再開することが出来る協働ロボットです。これにより人とロボットの協働作業の可能性の広がりを感じました。今回の視察で得られたことを活かしていきたいと思います。

## プラスチック成形技術高度化セミナー

### ●プラスチック成形技術高度化セミナー I

昨年度に続き2年目となるセミナーです。前半は樹脂の特性や樹脂流路設計について、後半はそれらを基に成形品設計や金型設計では、どのようなことに注意して設計すべきか、それぞれの要因毎に分かり易く説明していただきました。

日 時：2025年8月28日(木) 13：00～16：30

場 所：富山技術交流センター2階 大研修室

演 題：「成形不良防止のための成形品・金型の設計」

講 師：本間技術士事務所 所長 本間 精一氏

参加者：10社36名



セミナー風景

### ★受講感想 武内プレス工業(株) 山上 夏歩

本セミナーでは樹脂成形品の成形不良防止に向けた、成形品・金型の設計変更による対処法について、本間先生の経験を元にご教示頂きました。主に製品設計を担当している私にとって、金型の設計や特性については初めての情報も多く、視野を広げる良き経験となりました。今回得た知識を今後の実務で復習・活用しながら、更に理解を深めてゆきたいと思います。また、社内でも情報共有し、活用させていただきます。

自由な風土の小規模技術集団



三晶MEC株式会社

〒936-0861 滑川市中新1029-1  
TEL 475-7195(代)  
FAX 475-2924  
<http://www.sanshogiken.co.jp>

— Plastic 豊かな未来をひらく —



⊕ 太平株式会社

TAIHEI Co., Ltd.

〒939-1610 富山県南砺市福光737  
TEL(0763)52-1136  
FAX(0763)52-6116

●プラスチック成形技術高度化セミナーⅡ

プラスチック製品設計の基礎となる「樹脂特性」「金型構造」「成形加工」の3本柱について解説がありました。講義の中では、同月に視察されたプラスチック国際博覧会【ドイツ：K2025】の紹介もあり、技術サンプル展示や最新技術のビデオ上映に、参加者は大変興味を持って聴講していました。



セミナー風景

日時：2025年10月29日(水) 10：00～16：00  
 場所：富山技術交流センター2階 大研修室  
 演題：「プラスチック製品設計の基礎」  
 講師：伊藤英樹技術士事務所 所長 伊藤 英樹 氏  
 参加者：10社28名

★受講感想 ビニフレイム工業(株) 山本 秋斗

弊社は建材・樹脂の2部門で構成され、昨年まで建材部門に所属していたため樹脂知識が乏しい状況でした。本セミナーは「プラスチックとは何か」といった基礎から始まり理想的で、射出成形中心の内容も自社製品や外注品に関連し興味深く学べました。特に金型のパーティングライン設定は押出成形にも通じる点が多く理解が深まりました。営業職として新型受注時に設計・製造へ活かしたいと感じ、今後押出成形中心のセミナーがあれば再度参加したいと思います。

**第19回 技術開発・改善事例発表会&講演会**

第一部では、各企業が自社での開発事例や改善事例を発表し、参加者は多くの知見を得て参考になったようでした。第二部では、炭素繊維の表面状態やサイジング剤の違いが、界面特性や複合材料の力学特性に大きく影響を及ぼすことなど、複合材料研究の最前線に触れる有意義な講演となりました。

日時：2025年11月13日(木) 13：30～16：00  
 場所：富山産業展示館（テクノホール）東館2F 大会議室  
 参加者：30社70名 ※技術委員、発表者、アシスタント含む



発表された皆様と齋藤担当役員

第1部 技術開発・改善事例発表会 (13：30～14：45)

- 発表1. 阪神化成工業株式会社 碓井 良平  
 テーマ：スピーディーに開発を行なう 3Dプリンターの導入による効果
- 発表2. 丸喜産業株式会社 梅 孝夫  
 テーマ：マテリアルズ・インフォマティクス AIで変わる材料開発
- 発表3. 三光合成株式会社 杉野 直人  
 テーマ：抗菌性を発現させる微細構造を有するガス透過性ハイブリッド金型の作製



インダストリー4.0へ

## 東洋化工株式会社

〒936-0857 滑川市下梅沢1350番地  
 TEL (076)475-2125 FAX (076)475-9471



# NEX-V

新しい時代を牽引する新しい成形機  
 — IoT対応 新型電気式高性能射出成形機 —



射出成形機・金型・成形支援システム  
**日精樹脂工業株式会社**  
<http://www.nisseijushi.co.jp>

■本社・工場 / 〒389-0693 長野県埴科郡坂城町  
 南条 2110 電話(0268)81-1050

北陸営業所 / 〒939-8211  
 富山県富山市二口町1-10-5  
 TEL (076) 425-2638 (代)  
 FAX (076) 425-2639

## 第2部 講演会 (15:00~16:10)

講師：福井大学 学術研究院工学系部門 准教授 植松 英之 氏  
 演題：「高分子構造と高分子/繊維複合材料の力学特性に関する研究」



講演会の様子

### ★受講感想 (株)大樹 谷口 聡一郎

各社それぞれの課題に対し、自社の環境や時代の変化に合わせながらも、しっかりと生産性や作業効率の向上・顧客満足に繋がる素晴らしい改善事例を拝聴することができ、大変勉強になりました。今回の発表会で受けた刺激と学んだことを業務に活かし、私も自社の社内改善～顧客満足に繋がる仕事に努めて参りたいと強く感じました。また、講演会においても貴重な研究内容を拝聴させていただきました。誠にありがとうございました。

## 研修講習事業

### ■後期射出成形講習 (実技)

日時：2025年11月11日(火)～21日(金) 9:00～16:00  
 場所：ポリテクセンター富山  
 講師：渋谷 巽氏 大下 敏貴氏  
 受講者：1級9名・2級15名 計24名



実技講習

## 押出成形事業

### ■講習会 (学科)

日時：2025年8月30日(土) 10:00～15:30  
 場所：富山県総合情報センター 2階 第5会議室  
 受講者：1級1名 2級4名

### ■講習会 (実技)

日時：2025年9月2日(火)～3日(水) 9:00～16:30  
 場所：(株)トヨックス 北工場  
 受講者：2級6名

### ■社内検定 (学科)

日時：2025年11月8日(土) 10:00～11:30  
 場所：富山県総合情報センター 2階 第5会議室  
 受検者：1級1名 2級4名

### ■社内検定 (実技)

日時：2025年11月12日(水)～18日(火) 9:00～16:30  
 場所：(株)トヨックス 北工場  
 受検者：2級6名



学科講習



実技講習

ファインプラス株式会社

Fineplas Limited



# 武内プレス工業株式会社

## 1. 経営理念

“夢の実現”

夢を持ち、その実現に努力することが、明日への希望であり限りなき前進であると信じ、経営理念「夢の実現」を合言葉に、容器の総合メーカーとして皆さまの豊かな生活を創造し、魅力ある企業となることを目指しています。

「個人の夢」従業員一人一人の暮らしと人生が豊かになるように。

「顧客の夢」お客様にご満足いただける製品とサービスを提供し、繁栄の一助となるように。

「社会の夢」人にも環境にも優しい製品づくりにより、持続可能な社会を実現できるように。

「会社の夢」魅力ある企業として発展し続けられるように。



## 2. 会社概要

代表取締役社長：武内 繁和

創 業：1873年 8月

本 社：〒930-0816 富山県富山市上赤江町一丁目10番1号

営 業 所：東京・大阪・名古屋・富山

工 場：富山・滑川・滑川本江・神戸・藤岡（群馬県）

資 本 金：10億1,042万円



## 3. 事業内容

アルミ・樹脂を材料とした各種容器の企画、開発、製造、販売を行っています。

## 4. 取扱品目

アルミアゾール缶、小型アルミ缶、飲料缶、アルミチューブ、ラミネートチューブ、樹脂チューブ



アルミアゾール缶・小型アルミ缶



飲料缶



アルミチューブ



ラミネートチューブ



樹脂チューブ



## 株式会社 松井製作所

代表取締役 松井宏信

POSS富山

〒930-0997 富山県富山市新庄北町18-35-102

TEL:076-471-5230(代) / FAX:076-471-5231

### ◆経営理念

「信頼される 応える 共に喜ぶ」

MATSUIが果たすべき使命は、単に製品を製造・販売し、利益を追求することではありません。私たちは、お客さま・取引先・従業員・社会の皆さまとrapport(相互に信頼できる良好な関係)を一つひとつ築き上げることこそが、真に価値ある仕事であると考えています。

### ◆特 徴

当社は1912年の創業以来、医療・理化学機器で培ってきた技術をプラスチック分野に応用し、金型温度調節機や樹脂乾燥機など、プラスチック成形用設備・システムの製造・販売を行ってまいりました。特に成形工場における課題である「エネルギーのムダ」「樹脂のムダ」「水のムダ」の3つのムダをなくすことを目指し、資源生産性の向上に貢献する機器の開発に取り組んでいます。さらに、工場診断を通じて、具体的な改善提案を行うことで、お客様の生産現場の最適化を支援しています。

### ◆弊社の使命



「成形工場の“factor4”を実現する」

プラスチック成形に必要な材料・水・エネルギーのコストを半減しながら、生産量の増加と製品の付加価値向上を実現することで、豊かさを2倍にする。私たちは、この“factor4”の考え方に基づき、成形工場の未来を支える具体的なソリューションを提案しています。



除湿熱風乾燥機  
MJ6-i

装置の使用状況に応じて運転モードを自動制御するセルフコントロール機能で省エネに貢献します。



金型ガス吸引装置  
MAG

ガスの金型への付着を軽減することにより、生産性低下と成形不良の発生を抑制します。

## 「還暦お祝い旅」 押出成形運営委員会 委員長 浦谷 昌克（三協化成株式会社）

還暦を迎え、人生の新たな節目に立った喜びと、これまでの道のりへの感謝が胸に去来する今日この頃。そんな感慨深い時に、かけがえのない孫たちと共に日本人の心の故郷とも言われる伊勢神宮を参拝する機会に恵まれました。手をつないで広大な神域を歩くと玉砂利を踏みしめる音、清らかな空気に包まれ心が洗われるような清々しい気持ちになりました。孫は初めて見る壮大な神殿や、歴史を感じさせる木々に目を輝かせ、時折「これは何」と無邪気に問いかけてきます。その一つ一つに答えるたび、私自身の心にも、伊勢神宮の持つ深い意味が改めて刻み込まれるようでした。

正宮への続く石段を、孫と手を取り合ってゆっくりと上る一步一步が、これまでの人生を振り返り、これからの未来を願う祈りです。孫の成長を願い、家族の健康を祈り、平和な日々が続くことを心から願いました。参拝を終え、おかげ横丁で賑わいを感じながら、孫が嬉しそうに食べる姿を見てみると、胸いっぱい幸せが込み上げてきました。この還暦旅は、私にとって最高の贈り物となりました。家族の愛情に包まれ、心ゆくまで幸せな時間を過ごすことができたこの思い出は、これからの人生を歩む上での糧となります。最高の還暦お祝い旅でした。



## 「電波がつないだ笑顔 in 大阪・関西万博」

技術委員会 副委員長 亀田 隆夫（三光合成株式会社）

業界で話題の資源循環をテーマにした日本館でじっくり学んだ後、隣の建物へ向かった。「体験交信しませんか？」と声をかけられ、「記念運用したい。1kW出力の（モールズ）電波で！」と伝えると、資格を確認され機械の前へ案内された。隣では若い女性が、最近、有資格者の管理下で行えるようになった体験交信の説明を受けていた。十数年ぶりに電波を出す私は、備え付けの最新の無線機をうまく調整できず焦った。送信を始めると、万博記念無線局ということもあり、次々と呼ばれ夢中で交信をした。「昔と変わらず楽しいな」と感じた瞬間、「体験交信の方と交代を」と肩をたたかれた。交信結果をまとめていると、先ほどの女性が笑顔で戻ってきた。「実は、この前体験して楽しかったので、また来ちゃいました」と、北海道の人といま話した感想を語りはじめた。携帯電話の普及とともに通信手段が多様化し、アマチュア無線は衰退傾向にある。それでも不安定な音を聞き分け、遠くの誰かとつながる喜びは変わらない。喜びを伝えようと懸命に話す彼女を見て、「そうだね、やっぱり楽しいよね」と心の中でつぶやいた。



**北酸株式会社**

代表取締役社長 山口 昌広

本社 〒930-0029 富山市本町11番5号  
TEL (076) 441-2461 FAX (076) 441-2358  
URL: <http://www.hokusan.co.jp>

プラスチックを、何度でも。

**MARUKI**

代表取締役  
社長

**小 菌 雄 治**

丸喜産業株式会社

本社・本社工場 〒939-1273 高岡市薬附5858 TEL 0766-36-1464 FAX 0766-36-1429  
小杉工場 〒939-0351 射水市戸破針原53-13 TEL 0766-56-9789 FAX 0766-56-9793  
福岡工場 〒939-0135 高岡市福岡町本領58-1 TEL 0766-64-0027 FAX 0766-64-0028  
立野工場 〒933-0343 高岡市宝来町85 TEL 0766-54-5377 FAX 0766-54-5376

原料販売  
カラーリング加工  
成型機および周辺機器販売  
各輸出入取引

## 2025年度 プラスチック成形技能検定合格状況

### 射出成形(1級)

	年度	受検申請者	学科			実技			技能士合格者	合格率
			受検者	合格者	合格率	受検者	合格者	合格率		
富山県	2021年(前期)	36	15	13	86.7%	36	0	0.0%	0	0.0%
	2022年(前期)	38	10	6	60.0%	38	6	15.8%	6	15.8%
	2023年(前期)	26	15	6	60.0%	21	2	9.5%	3	11.5%
	2024年(前期)	36	16	14	87.5%	35	4	11.4%	5	7.9%
	2025年(前期)	29	8	8	100.0%	28	7	25.0%	7	24.1%
全国	2021年(前期)	1,138	597	468	78.4%	999	279	27.9%	282	24.8%
	2022年(前期)	1,114	511	381	74.6%	996	295	29.6%	295	26.5%
	2023年(前期)	1,101	528	378	71.6%	988	277	28.0%	284	25.8%
	2024年(前期)	1,227	638	463	72.6%	1,101	332	30.2%	331	27.0%
	2025年(前期)	1,142	573	435	75.9%	1,049	320	30.5%	325	28.5%

### 射出成形(2級)

	年度	受検申請者	学科			実技			技能士合格者	合格率
			受検者	合格者	合格率	受検者	合格者	合格率		
富山県	2021年(前期)	79	44	25	56.8%	77	17	22.1%	17	21.5%
	2022年(前期)	60	41	24	58.5%	58	8	13.8%	8	13.3%
	2023年(前期)	66	42	30	71.4%	59	13	22.2%	15	22.7%
	2024年(前期)	65	38	24	63.2%	64	18	28.1%	15	23.1%
	2025年(前期)	78	57	38	66.7%	70	22	31.4%	21	26.9%
全国	2021年(前期)	2,633	1,833	1,250	68.2%	2,184	860	39.4%	846	32.1%
	2022年(前期)	2,562	1,643	1,067	64.9%	2,109	816	38.7%	775	30.2%
	2023年(前期)	2,529	1,638	1,136	69.4%	2,128	843	39.6%	851	33.6%
	2024年(前期)	2,678	1,771	1,249	70.5%	2,277	950	41.7%	966	36.1%
	2025年(前期)	2,617	1,700	1,218	71.6%	2,216	959	43.3%	985	37.6%

#### ■射出成形技能検定に関する課題等

単年ではありますが、1級学科の合格率が100%となった。2級では全国平均を下回っているものの、過去数年と比較しても悪くない結果となった。昨年、今年と学科講習の実施方法を変更したことが良い結果として現れている。

実技では、時間不足になる受検生が多く見受けられた。金型取付に何分、1種類目の材料で何分というように時間配分ができていないように見られた。また、現場での経験値が不足しているように見られ、実技講習会ですべてを学ぼうとするのではなく、日々現場での様々な経験を積むことが最も必要であり重要と思われる。

### 富山県プラスチック工業会認定 社内検定

#### 押出成形(1級)

	年度	受検申請者	学科			実技			技能者合格者	合格率
			受検者	合格者	合格率	受検者	合格者	合格率		
富山県 プラスチック 工業会	2021年	5	1	0	0.0%	5	1	20.0%	※1	20.0%
	2022年	3	2	0	0.0%	3	3	100.0%	0	0.0%
	2023年	4	4	1	25.0%	4	2	50.0%	※1	25.0%
	2024年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2025年	1	1	0	0.0%	—	—	—	0	0.0%

#### 押出成形(2級)

	年度	受検申請者	学科			実技			技能者合格者	合格率
			受検者	合格者	合格率	受検者	合格者	合格率		
富山県 プラスチック 工業会	2021年	8	8	1	12.5%	3	2	66.7%	※1	12.5%
	2022年	9	8	2	25.0%	4	3	75.0%	※2	22.2%
	2023年	6	6	4	66.7%	6	2	33.3%	※3	50.0%
	2024年	10	9	6	66.7%	9	1	11.1%	1	10.0%
	2025年	6	4	1	25.0%	6	2	33.3%	2	33.3%

#### ■押出成形社内検定に関する課題等

2025年度の押出成形2級社内検定において、学科での合格率が25%、実技での合格率が33.3%と低い結果となった。

実技では失格が2名、打ち切りが1名と残念な結果になった。

作業では安全に気を付けながら正しい手順で行う事、このことを再度認識していただきたい。

また、条件調整は何分までと目安時間を設けておくことも必要と思われる。

※：2023年までは製造者です

**緊急用**  
都市型水害対策商品

中国特許  
取得済み

**十No袋**  
水でぬぐえる

**環境に優しい手袋**

製法特許出願済・食品衛生法適合商品

**シリコンコート**

**丸和ケミカル株式会社**

富山県高岡市野村1636番地1 商品の詳細はウェブをご覧ください。

TEL 0766-22-6672 FAX 0766-22-2494

丸和ケミカル

窓

を 考 える 会 社

YKK  
ap

YKK AP株式会社 <https://www.ykkap.co.jp>

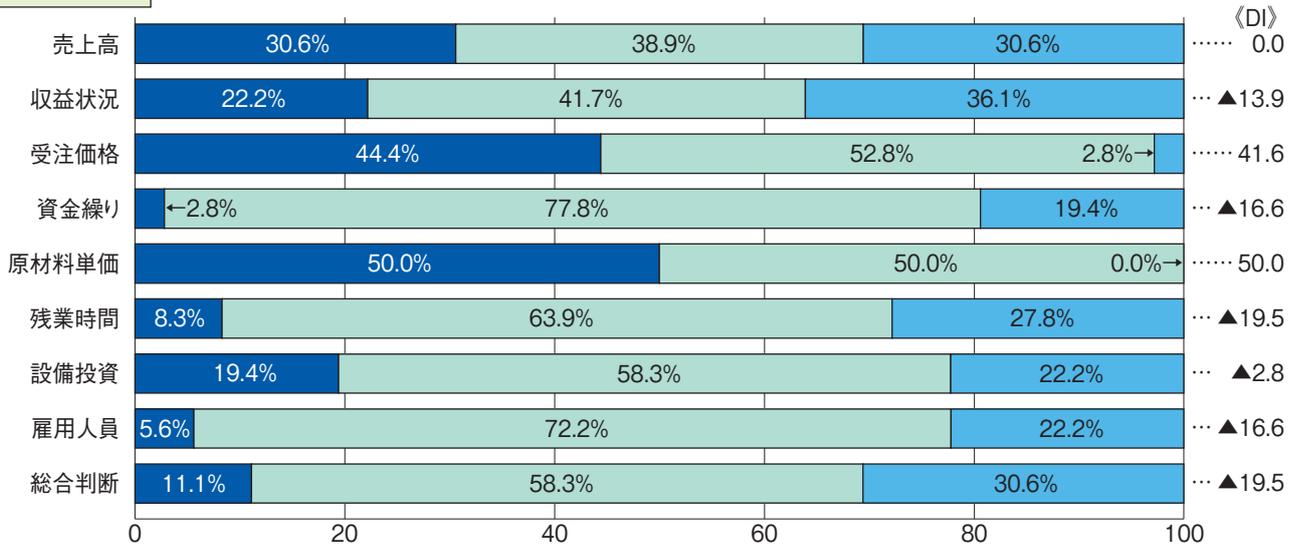
(広告は、企業名の50音順で掲載しています)

## 最近の実績

2025年10月～2025年12月/前年同期比

■ 増加・好転・上昇 ■ 変わらず ■ 減少・悪化・低下

調査項目

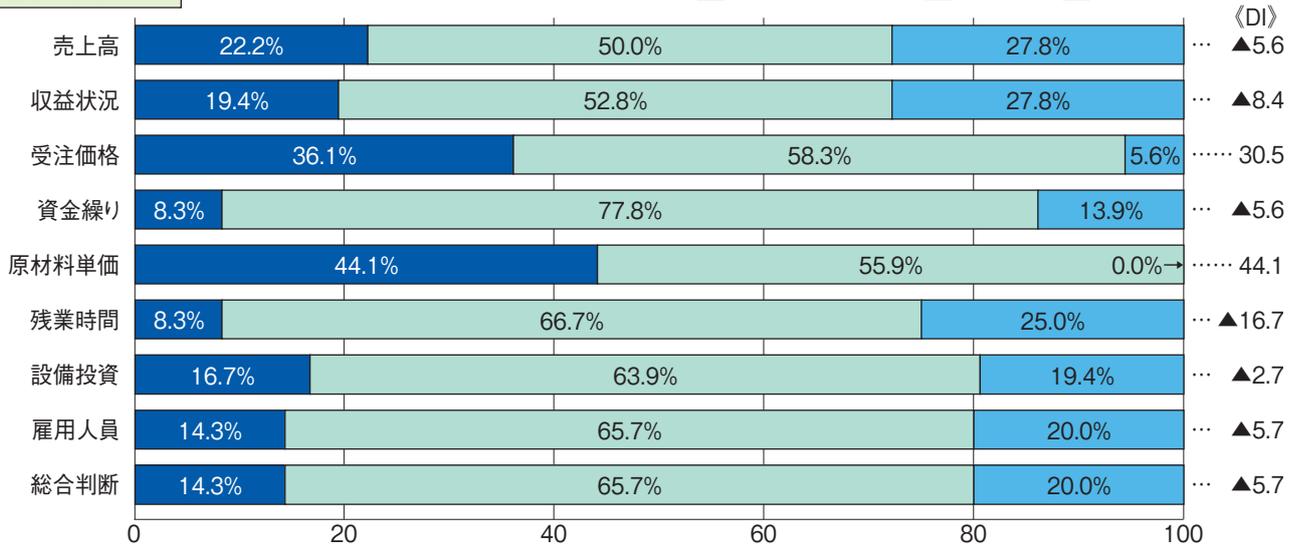


## 今後の見込み

2026年1月～2026年3月/前年同期比

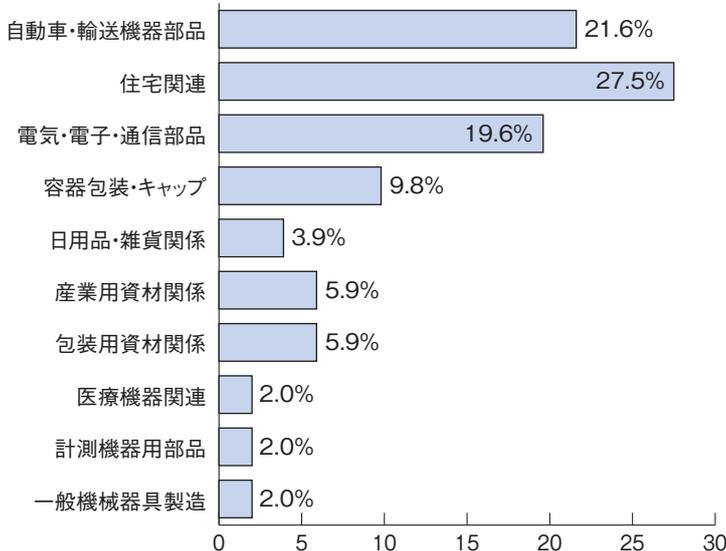
■ 増加・好転・上昇 ■ 変わらず ■ 減少・悪化・低下

調査項目

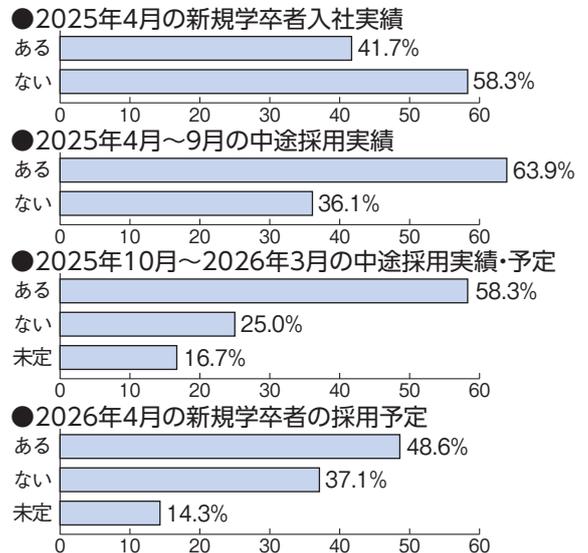


(36社回答)

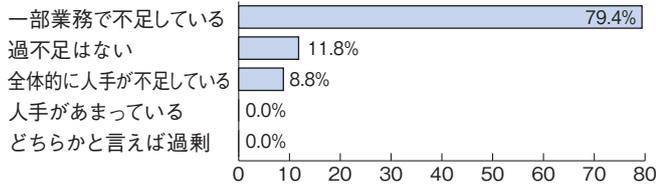
### [1] 売上(取扱い)商品の中でウエイトが高いのは?



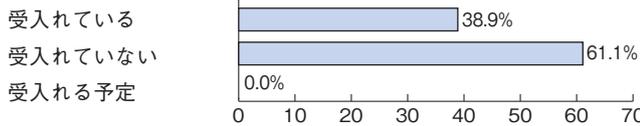
### [2] 雇用について



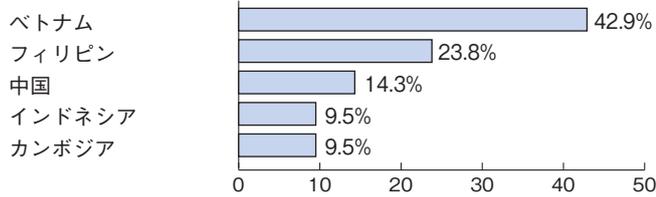
### 【3】現在、人員の充足感について



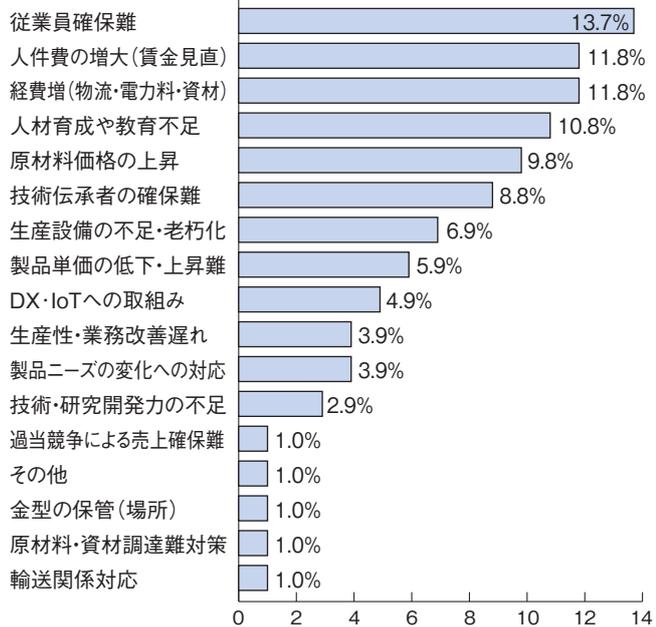
### 【4】外国人実習生の受入状況について



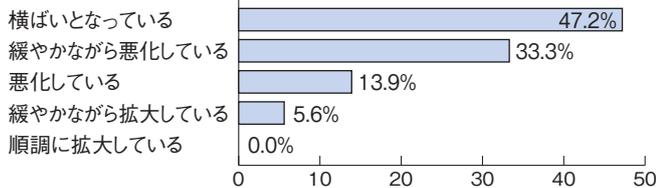
### 【5】問【4】の受入れている(予定)の出身地は？



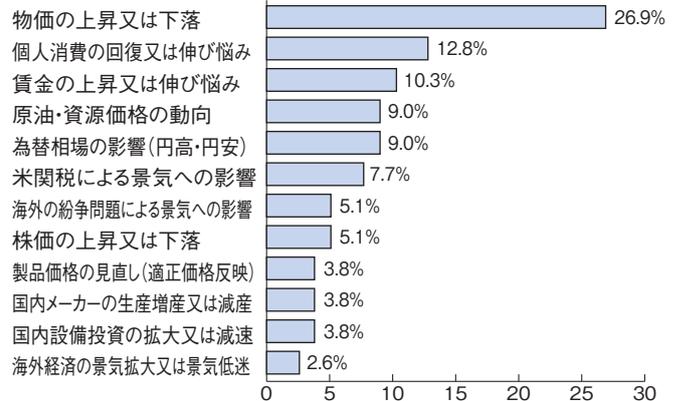
### 【6】今季直面している経営上の問題点について (2025年10月～12月まで)



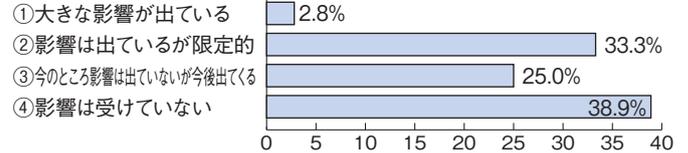
### 【7】現在の国内景気をどのように認識されていますか？ (前回の調査：2025年4月～6月と比較して)



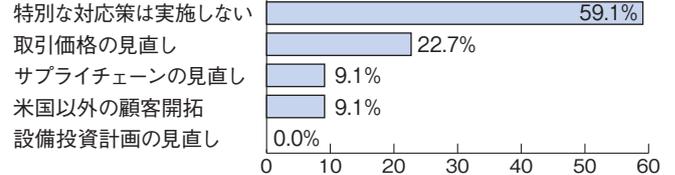
### 【8】問【7】のそれぞれの要因について



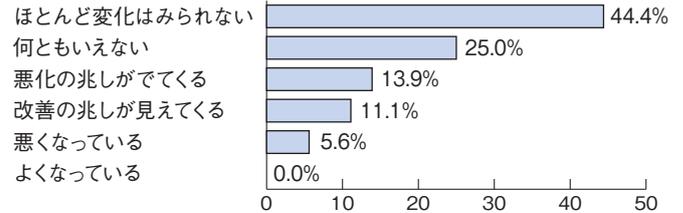
### 【9】米国関税措置(いわゆるトランプ関税)の影響度について



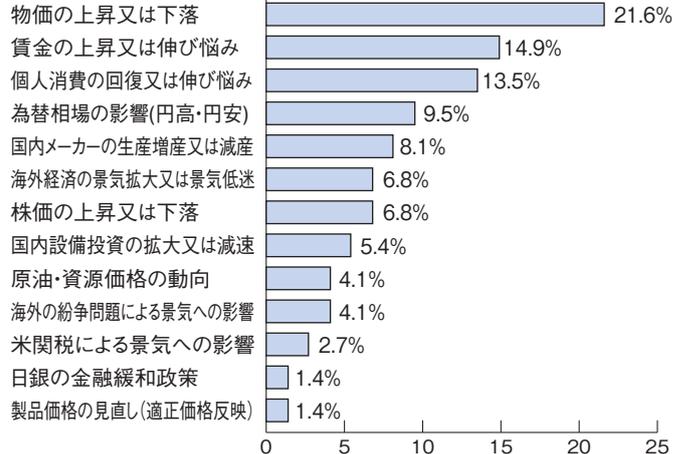
### 【10】問【9】で①～③と回答された方でどのような対策を実施または実施予定ですか？



### 【11】今後の国内景気は、現在と比較してどうなると思いますか？ (2026年1月以降)



### 【12】問【11】のそれぞれの要因について



## 加工機械生産実績

金額：百万円

	合計		射出成形機										押出成形機				ブロー成形機	
			計		型締力100t未満		型締力100t以上200t未満		型締力200t以上500t未満		型締力500t以上		本体		付属装置		本体	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額
2020	11,429	179,653	9,837	121,989	3,266	21,931	3,632	34,095	2,476	37,392	463	28,571	382	30,909	744	9,890	466	16,865
2021	15,231	202,211	13,742	153,164	3,845	23,777	5,854	51,929	3,490	51,588	553	25,870	312	18,749	717	14,105	460	16,193
2022	14,535	213,046	13,114	153,799	3,535	22,290	5,692	51,758	3,272	48,485	615	31,266	268	20,809	829	25,406	324	13,032
2023	9,226	15,895	3,989	4,459	810	874	921	998	921	962	1,337	1,625	1,727	2,998	2,282	7,195	1,228	1,244
2024	11,691	190,796	10,218	134,822	2,871	19,944	4,489	39,944	2,325	37,713	533	37,221	356	16,899	808	26,185	309	12,890
2025.5月	853	13,554	784	11,801	206	1,433	356	3,103	165	2,901	57	4,364	15	428	26	260	28	1,065
前年同月比	106.2	120.4	107.4	134.1	110.8	115.9	102.6	105.4	103.8	117.6	150.0	202.7	83.3	43.2	78.8	41.4	127.3	126.8
2025.6月	939	12,412	855	10,581	192	1,440	407	3,523	214	3,375	42	2,243	18	517	45	612	21	702
前年同月比	98.4	85.4	99.2	92.3	100.0	109.2	95.5	91.1	110.9	107.3	82.4	71.6	66.7	25.5	104.7	194.3	95.5	95.8
2025.7月	903	13,779	840	12,490	223	1,536	367	3,505	194	3,113	56	4,336	13	378	29	220	21	691
前年同月比	89.1	98.9	90.3	109.2	104.2	108.2	77.8	82.4	99.0	99.5	116.7	164.5	76.5	45.9	70.7	32.4	80.8	69.3
2025.8月	828	12,714	690	9,477	200	1,330	283	2,653	160	2,542	47	2,952	38	838	64	593	36	1,806
前年同月比	87.2	81.8	83.6	88.7	87.3	81.6	75.9	81.3	92.0	92.0	95.9	97.6	115.2	58.2	95.5	25.0	144.0	171.8
2025.9月	877	14,496	788	12,422	249	1,692	327	3,152	160	2,838	52	4,740	24	414	33	119	32	1,541
前年同月比	79.1	83.9	77.8	92.6	71.8	69.0	87.9	96.5	64.3	71.6	115.6	127.0	109.1	44.0	67.3	6.4	128.0	145.4
2025.10月	989	15,373	844	11,753	239	1,639	378	3,833	189	3,150	38	3,131	16	1,036	98	1,299	31	1,285
前年同月比	89.2	88.9	83.3	87.6	78.9	77.8	86.3	96.5	86.7	89.0	115.2	95.7	57.1	41.5	178.2	97.4	114.8	159.4

## 原料生産実績

単位：トン

	計	フェノール樹脂	ポリエチレン	ポリスチレン	ポリプロピレン	メタクリル樹脂	塩化ビニル樹脂	ポリカーボネート	ポリアセタール	PBT樹脂	その他樹脂
2020	9,262,669	258,409	2,246,009	1,057,216	2,246,815	129,345	1,626,549	269,660	89,683	96,836	1,242,147
2021	9,926,985	295,795	2,451,642	1,074,185	2,463,136	138,994	1,625,347	280,922	120,315	117,093	1,359,556
2022	8,963,935	267,024	2,236,753	893,178	2,120,222	120,925	1,544,933	261,151	125,486	108,386	1,285,877
2023	8,390,220	236,436	2,043,693	751,512	2,075,387	117,873	1,547,754	230,623	76,600	101,835	1,208,507
2024	7,973,419	231,824	1,937,747	813,733	1,934,738	124,275	1,463,881	206,344	0	95,348	1,165,529
2025.5月	660,568	18,399	167,988	62,145	169,361	10,328	117,986	18,500	0	9,497	86,364
前年同月比	99.8	95.8	97.5	91.3	111.9	86.7	104.1	98.1	0.0	97.5	88.7
2025.6月	540,722	20,165	111,316	56,510	124,714	9,396	114,645	13,498	0	9,254	81,224
前年同月比	98.3	105.3	87.9	90.3	114.1	101.2	98.0	78.4	0.0	99.4	102.3
2025.7月	621,546	20,375	138,965	67,553	146,921	9,430	123,993	8,769	0	11,363	94,177
前年同月比	98.3	99.0	84.7	96.9	115.3	85.0	103.0	71.3	0.0	112.8	97.4
2025.8月	635,167	15,821	153,899	70,038	149,790	8,211	124,948	11,802	0	9,912	90,746
前年同月比	98.5	94.3	101.2	100.3	100.7	66.0	95.5	96.3	0.0	112.3	97.8
2025.9月	676,457	20,251	146,804	78,179	164,653	11,581	124,995	20,857	0	7,787	101,350
前年同月比	101.0	103.3	92.5	123.1	102.5	106.8	98.8	93.8	0.0	89.8	102.7
2025.10月	747,537	20,827	188,502	66,990	198,566	8,181	137,649	19,971	0	4,414	102,437
前年同月比	107.4	98.0	111.1	99.7	114.2	85.7	107.4	115.2	0.0	91.9	98.4

## 製品生産実績

単位：トン

	計	フィルム	シート	板	合成皮革	パイプ	継手	機械部品①～③			日用品・雑貨	容器		建材	発泡製品	強化製品	その他	
								計	①輸送機械部品	②電気通信部品		③その他部品	中空成形容器					その他の容器
2020	5,501,464	2,171,309	203,796	95,316	44,157	361,926	45,120	657,996	512,442	101,466	44,088	305,603	466,197	328,443	241,979	243,864	67,819	267,939
2021	5,685,065	2,233,862	218,777	96,744	54,599	363,333	51,809	671,222	515,861	108,340	47,021	307,297	464,988	384,781	252,691	245,403	66,720	272,839
2022	5,568,110	2,162,311	210,464	87,840	52,129	343,988	53,105	658,374	507,478	104,375	46,521	299,116	487,906	377,322	253,073	240,198	68,089	274,195
2023	5,295,349	1,955,544	192,812	78,354	55,047	322,049	50,155	712,201	568,376	97,867	45,958	277,888	532,487	312,819	248,033	230,634	65,572	261,754
2024	5,315,204	1,998,742	187,391	78,014	54,782	343,052	48,050	672,333	536,476	94,862	40,995	273,733	564,865	315,420	233,552	224,786	61,192	259,292
2025.5月	398,565	119,738	16,505	6,009	3,781	24,927	3,462	50,821	39,961	7,514	3,346	22,093	58,609	28,006	20,290	17,580	4,754	21,990
前年同月比	92.5	73.6	113.1	95.6	89.3	94.9	99.6	95.0	93.4	100.0	104.3	99.3	118.2	113.8	110.3	95.9	100.3	99.3
2025.6月	429,735	126,240	18,181	6,717	4,318	27,313	3,908	56,946	44,945	8,318	3,683	22,801	61,724	31,695	23,151	18,327	5,235	23,179
前年同月比	92.9	72.7	111.8	93.7	97.0	89.2	93.0	100.2	99.0	103.7	108.3	98.3	122.7	111.9	108.8	96.6	100.7	104.5
2025.7月	439,807	128,731	19,248	6,395	4,423	27,649	3,828	60,935	48,337	8,773	3,825	23,370	62,167	31,536	23,187	19,408	5,436	23,494
前年同月比	90.9	70.0	114.5	86.0	88.0	90.4	91.1	97.6	96.5	101.6	103.0	98.1	120.9	108.7	112.8	96.1	103.5	101.1
2025.8月	349,868	101,938	14,144	4,867	3,225	21,297	2,726	43,904	34,311	6,604	2,989	19,394	55,311	25,270	16,877	16,487	4,495	19,933
前年同月比	90.5	71.2	111.3	78.9	88.9	95.3	83.5	93.1	92.1	95.0	100.5	95.2	118.1	103.1	105.2	98.2	103.9	103.1
2025.9月	430,077	127,300	18,245	6,576	4,279	29,521	3,898	58,607	46,887	8,044	3,676	22,862	59,002	29,456	22,821	19,421	5,360	22,729
前年同月比	93.2	72.0	116.1	94.0	90.4	94.2	89.6	101.1	100.6	101.1	107.0	101.1	122.4	112.3	114.0	97.8	100.8	106.4
2025.10月	488,101	177,055	18,780	6,143	4,557	31,216	4,091	63,182	50,968	8,454	3,760	23,663	57,090	29,699	23,861	20,539	5,564	22,661
前年同月比	100.7	96.8	109.2	89.5	88.6	86.5	91.0	100.9	100.8	101.4	101.4	101.0	119.3	110.8	111.1	95.7	101.3	99.1

(経済産業省データ加工)

## 【会員の動き】

## ■代表者の変更（登録代表者）

有限会社惣田工業所

代表取締役社長 惣田 恭史（前：惣田 重正）

株式会社北熱

代表取締役社長 赤澤 直人（前：政 誠一）

## 共創

## 心と体の健康寿命

私は今年で60歳を迎えた。

私生活では、子供たちが独り立ちし、孫も生まれた。人生のライフイベントも終盤に差し掛かり、心理学者が提唱したライフサイクル理論の「人生の四季」でいえば、「冬」に入る時期となる。この時期は、生物学的、心理学的、社会的にさまざまな変化が起こるとされている。

厚生労働省のデータによると、2024年の日本人の平均寿命は男性81.09歳、女性87.14歳。90歳まで生存する割合は男性26.0%、女性50.1%にのぼる。一見すると、平均寿命までにはまだ時間があるように思える。しかし、健康寿命に目を向けると、2022年度のデータでは男性72.57歳、女性75.45歳であり、平均寿命との差は男性で8.49年、女性で11.63年となっている。健康寿命とは、健康上の問題で日常生活に制限のない期間を指し、介護を必要とせず、心身ともに自立して生活できる期間のことだ。逆に言えば、男女ともに10年近くは不健康な期間があることを覚悟しなければならないということでもある。

寿命を自分で決めることはできないが、長生きする上で、不健康な期間を少しでも短くすることが最も重要だと考えるべきだ。これまでも健康診断のたびに、生活習慣病対策として食事制限や運動、ダイエットなどの指導を受けてきた。しかし、年齢とともに基礎代謝が落ち、

運動しても体重が思うように減らなくなった。運動量を増やそうと頑張ると、体に負担がかかり、あちこちを痛めてしまうこともある。一度痛めると回復までに時間がかかり、半年以上かかることも珍しくない。

たとえば、マラソンは心肺機能や膝、足首に負担がかかり、ケガが増えたため、今では走らなくなってしまった。当初ダイエット目的で始めた水泳は、もう20年近く続けており、現在もマスターズ水泳の大会に参加している。しかし、年々負荷のかかる練習が難しくなり、気持ちはあっても体がついていかなくなってきた。その結果、練習量が減り、自己記録を維持することが難しくなっている。こうした状況に直面すると、少しずつモチベーションが下がっていく自分に気づく。体の衰えが心にも影響を及ぼし、気力まで衰えていくのではないかと感じ始めた。

肉体的・精神的な衰えを感じることは、「死が近づいている」とまでは実感しないものの、健康寿命をどこまで維持できるのかという不安を抱かせる。老年期へ向けた過渡期の過ごし方次第で、人生への絶望感や苦しさを軽減できるのではないかと考えるようになった。多少の体の不調は「年齢を重ねた証」と割り切り、受け入れることも必要だと感じている。

仕事では一旦定年という区切りを迎え、成人前期や中年期と比べると、次第に表舞台との関わりが少なくなってきた。しかし、自分なりに新しい関わり方を模索することで、少しでも有意義な老年期を送る環境を探っていきたいと思う。老年期への過渡期は、衰えを感じると同時に、自分の内なる声に耳を傾け、社会や自分自身と向き合う大切な時期だと実感している。

編集委員長 (株)タカギセイコー 谷田 雄彦

## 《編集委員会》

編集委員長 谷田 雄彦 (株)タカギセイコー

編集委員 濱井 泉 (株)碓井製作所

〃 思田 幸二 (三光合成株)

〃 上田 祐輔 (阪神化成工業株)

〃 稲垣 暁 (株)リッチェル



## 富山県プラスチック工業会

(富山技術交流センター内)

〒930-0866 富山市高田529番地

TEL(076)442-0309 FAX(076)442-0310

URL <http://www.kenpla.jp> E-mail [info@kenpla.jp](mailto:info@kenpla.jp)



## 編集後記

会報「とやま県プラNo.56号」の発刊にあたり、原稿をご提供いただいた皆様に心より感謝申し上げます。さて、この記事執筆時点の世間の話題は“熊”です。連日出没や被害の報道が続いています。会報が発刊される1月末には冬眠に入り、この話題が無くなっていることを願いつつ、本年も、県プラ事業への皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

事務局 碓井(記)